

長野

りんどう

2023.11
No.67

発行／社会福祉法人長野りんどう会
ライフサポートりんどう
発行責任者／松橋 良三
〒381-0041 長野市徳間 3222
TEL 026-239-7077
FAX 026-239-7070
<https://nagano-rindou.jp>
E-mail:l.s.r@bg.wakwak.com

特集

ゆったりりんどうの作業風景



ゆったりりんどう利用中のKさんの愛犬
はなちゃん（8歳）

理念

私たちは、誰もが人として尊重される福祉活動を通じて、地域福祉の推進に協力し、すべての人々が住みやすいまちづくりに貢献します。

ゆったりんどうの作業風景

昨年の4月にゆったりんどうが開所して1年以上が経ちました。
通所しているメンバーも徐々に増えて、今年の7月には定員が14人に増えました。
毎日賑やかに作業に取り組んでいます。
開所した当初から変わらず、体調や生活リズム、目標などに合わせて、ゆったりと自分らしく働ける場所として、皆さんに利用していただいています。

ゆったりんどう 1日の流れ

9時	開所
9時45分	作業開始 (ラジオ体操をしてから作業を始めます)
10時30分	
～10時45分	休憩
11時45分	作業終了
11時45分	
～13時00分	お昼休み
13時00分	午後の作業開始
13時30分	
～13時45分	休憩
14時15分	作業終了

午前、午後の送迎に加えて、今年からお昼の送迎を始めました。午前の作業終了後に希望者を送迎しています。

ゆったりんどうの主な作業内容

- ・靴下の検品
- ・チラシ折り、封入作業
- ・自動販売機の管理
- ・アメニティのセット
- ・ゆったりカフェの運営
- ・その他軽作業



毎日14人くらい的人数で作業をしています。作業以外にも、月に1度のペースで外出を企画したり、作業に余裕がある時は面談の時間を作ってお話を伺っています。



ゆったりんどうでは、障がいがある方々の体調、生活リズム、目標に合わせて自分らしく働けるようにサポート致します。「仕事はしたいけど体調に波があるから毎日は働けない」「自分ができる範囲のペースでゆっくり仕事がしたい」といった思いを持っている方、お待ちしております。施設から5キロ圏内であれば送迎も行っています。

昼食に美味しいお弁当を200円で注文できます。

気軽に見学、体験等ご相談ください。(連絡先：295-3077)



靴下の検品作業の様子



①裏返っている靴下の余分な糸を切る作業です。



②裏返った靴下を特殊な機械を使用し表に返す作業です。



③縫い目や穴にミスが無いかチェックした後に綺麗に畳み、10足を1束にして納品します。

カフェ作業の様子

毎週木曜日のお昼時間に、ワークスの1階で営業しています。



アメニティのセット作業の様子



タオルの余分な糸を切った後に綺麗に畳んで袋に入れます。その後、シャンプー等と一緒に手提げ袋に入れてセットします。



バランスよく、おいしい!

宿泊型自立訓練 フレッシュとくまの夕食



フレッシュとくま（宿泊型自立訓練）では、2名の調理員が交替で、毎日、夕食を作っています。塩分を控えたり、野菜をたくさん使ったりと健康面にも気をつけて調理しています。

…ある日の夕食…



- ・カレーライス
- ・サラダ
- ・ヨーグルト



- ・ハンバーグ付け
合わせ野菜
- ・コーンポタージュ



- ・鶏のトマト煮
- ・サラダ
- ・サイダーゼリー



- ・焼き魚
- ・冷奴
- ・トマトときゅう
りのもずく和え



調理員
Sさん

皆が元気になるように、安全に添加物の少ないもの、また野菜をたくさん使っています。食べて良かったと思えるように作っています。利用者から和食がおいしいと言われます。また料理の中で煮物が好きなので、筑前煮がおすすめです。



調理員
Iさん

食事をすることは生命を維持する源です。目（美味しそう）×口（おいし〜い）=美味しいの2乗で皆さんが楽しんで食事をする時間となればと思います。嗜好には個人差があります。メンバーさん各々が感じた“これ好き”、“美味しい”が私のおすすめです。

～利用者さんからの感想～

- ・おいしい!
- ・味噌汁のバリエーションが豊富でいい!
- ・飾り付け（盛り付け）がおしゃれ
- ・自分で作れないからありがたい。
- ・お腹いっぱいになって、おいしい♪
- ・おいしすぎて、退所後が心配です…。

【餃子や酢豚、天ぷらなど皆お気に入りのメニューはありますが、一番多かった声は「全部おいしい!」でした。】

法人からのお知らせ

1 第98回理事会の開催について

6月7日（水）に第98回理事会が開催され、次の議案について審議の上、それぞれ提案どおり承認されました。

(1) 承認議案第1号 社会福祉法人長野りんどう会令和4年度事業報告について

令和4年度も、コロナ対策で気が抜けない1年となった。年末にはフレッシュとくまの職員間でコロナ感染が広がり、生活介護事業を3日間クローズした。幸いなことに、宿泊型訓練施設利用者には感染拡大しなかった。また、グループホームでも3人の利用者の感染はあったが、素早くホテル療養へ移行できたためグループホーム内での感染は食い止められた。

今年度開始した「就労継続支援B（Ⅲ）型事業 ゆったりんどう」は、利用者に合った働き方とゆったり働ける場所を提供し、作業は地域企業や商店と連携を密にした内容になっている。また、送迎をすることもあり、徐々に利用者も増え、年度末には登録者23人となり、今後も利用者増が推測される。ここ数年利用者減少が続いている事業については、障がい者を地域で支えることに取り組んでいる事業所として「ライフサポートりんどう」があることを地域に周知していく方法を検討していきたい。また、公用車をリースに切り替えたことで、車検や定期点検がスムーズに受けられ、整備が整った公用車の使用や義務化された運転前のアルコールチェックを実施して、より一層安心、安全な環境の中で利用者の送迎や外出支援ができた。今後もより安全運転を心がけたい。

職員については、4月に国家資格のある職員1人の採用と3人の職員が法人の金銭補助を受け国家資格取得ができた。これからも定期的な職員採用や職員各々が資質向上を目指し、研修等への参加も推奨していく。年度途中で2人の職員が産休、育休を明け復帰した。また、年度末に宿直、日直の職員2人が80才の非常勤職員定年で退職された。このように誰もが働き続けられる職場となりつつある。

第3次3ヶ年計画の2年目を終え、計画の1つであったグループホームの建設は、建築資材高騰や不足も心配されたが予定通り完了し、3月中旬に引き渡しとなった。旧こまざわハウスの老朽化と一部消防基準を満たしていないために、建て替えを検討し、完成したところですが、2月の小火で被害が最小限だったとは言え、原因が壁の中の電気配線のショートであることを考えると、新こまざわハウスの完成は最善のタイミングとなった。また、建て替えにあたり、ご寄付をお願いしたところ、法人関係者、関係機関、ご家族、後援会等の方々から沢山のご寄付を頂いた。お陰様で新こまざわハウスの家電等の設備に充てることができ、利用者に快適で安全な住空間を提供することができた。

(2) 承認議案第2号 社会福祉法人長野りんどう会令和4年度決算について

支払資金の増減を表わす資金収支計算書では、当期資金収支差額がプラスの12,180,382円で、当期末での支払資金残高は197,410,071円となった。

また、事業活動の成果を表わす事業活動計算書では、当期活動増減差額がプラスの5,648,133円で、次期に繰り越せる活動増減差額は219,527,112円となった。

（資金収支計算書、事業活動計算書、貸借対照表及び財産目録は、後頁に掲載。）

(3) 承認議案第3号 定款の一部変更について

新こまざわハウス（GH）が完成し建物保存登記が完了したため、定款第30条の（資産の区分）基本財産の建物に追加し、また、定款第7条の（評議員の資格）の一部文言を修正するもの

(4) 承認議案第4号 管理運営規程の一部改訂について

「ゆったりんどう」は、指定自立訓練（生活訓練）事業と指定就労継続支援B（Ⅲ）型事業を行う多機能型事業所として開始したが、B（Ⅲ）型事業の利用者は、増えているが、生活訓練事業は、減っているため、多機能型定員（20人）の中で、それぞれの定員を変更するもの

- (5) 承認議案第 5 号 第 13 期役員の選任について
第 12 期役員の任期が満了するため、次期役員を定時評議員会で選任いただくもの
- (6) 承認議案第 6 号 評議員候補者の推薦について
藤澤秀樹評議員の退任に伴い、残任期間(令和 7 年度定時評議員会の終結の時まで)を務める評議員について、
評議員選任・解任委員会で、選任いただくため、評議員候補者を推薦するもの
- (7) 承認議案第 7 号 評議員選任・解任委員会の招集について
評議員を選任するため評議員選任・解任委員会を招集するもの
- (8) 承認議案第 8 号 評議員選任・解任委員の選任について
戸井田易委員の退任に伴い、残任期間(令和 7 年度定時評議員会の終結の時まで)を務める後任の外部委員を理事会で選任いただくため、候補者を推薦するもの
- (9) 承認議案第 9 号 第三者委員の選任について
戸井田易委員の退任に伴い、後任の第三者委員を選任し委嘱するため提出するもの
- (10) 承認議案第 10 号 令和 5 年度定時評議員会の招集について
6 月 26 日(月)に開催するもの

2 令和 5 年度定時評議員会の開催について

6 月 26 日(月)に定時評議員会が開催され、次の議案について審議の上、それぞれ提案どおり承認されました。

- (1) 承認議案第 1 号 社会福祉法人長野りんどう会令和 4 年度決算について
令和 4 年度決算書類(資金収支計算書、事業活動計算書、貸借対照表、財産目録)を提案。
- (2) 承認議案第 2 号 定款の一部変更について
第 98 回理事会で承認を得た定款の一部変更内容を提案。
- (3) 承認議案第 3 号 第 13 期役員の選任について
次の役員が選任されました。(理事 7 名、監事 2 名)
理事 小平恵子、小林千佳子、轟 純一、藤澤敏明、松橋良三、宮尾美代子、和田恭良
監事 塩澤一郎、丹後恵二
(任期: 令和 5 年度定時評議員会の終結の時から令和 7 年度定時評議員会の終結の時まで)
- (4) 報告議案第 1 号 令和 4 年度事業報告について
令和 4 年度に実施した各事業の取組等について報告。
- (5) 報告議案第 2 号 評議員の選任について
藤澤秀樹氏退任により、八木和久氏が評議員に選任された旨報告。
- (6) 報告議案第 3 号 評議員選任・解任委員の選任について
戸井田易氏退任により、金子伸雄氏が評議員選任・解任委員に選任された旨報告。
- (7) 報告議案第 4 号 第三者委員の選任について
戸井田易氏退任により、富田洋子氏が第三者委員に選任された旨報告。

3 第 99 回理事会の開催について

6 月 26 日(月)に第 99 回理事会が開催され、次の議案について承認されました。

- (1) 承認議案第 1 号 社会福祉法人長野りんどう会 理事長の選定について
松橋良三理事が理事長に選定されました。
- (2) 承認議案第 2 号 社会福祉法人長野りんどう会 副理事長及び常務理事の選定について
藤澤敏明理事が副理事長に、小林千佳子理事が常務理事に選定されました。

事業活動計算書

(自) 令和4年4月1日(至) 令和5年3月31日

第二号第一様式(第二十三条第四項関係)
(単位:円)

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部			
収益	11,184,033	9,354,257	1,829,776
就労支援事業収益	194,535,962	203,178,894	△8,642,932
障害福祉サービス等事業収益	11,327,000	643,594	10,683,406
経常経費寄附金収益	217,046,995	213,176,745	3,870,250
サービス活動収益計(1)	141,033,903	136,995,363	4,038,540
人件費	21,187,511	17,249,409	3,938,102
事業費	16,803,591	16,415,302	388,289
事務費	16,067,312	14,672,292	1,395,020
就労支援事業費用	13,410,483	13,053,794	356,689
減価償却費(サービス)	△6,906,589	△6,806,539	△100,050
国庫補助金等特別積立金取崩額(サ)	201,596,211	191,579,621	10,016,590
サービス活動費用計(2)	15,450,784	21,597,124	△6,146,340
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	4,461	3,764	697
収益	566,020	3,387,381	△2,821,361
その他のサービス活動外収益	570,481	3,391,145	△2,820,664
サービス活動外収益計(4)	33,844	37,926	△4,082
支払利息	15,479	2,784	12,695
その他のサービス活動外費用			
サービス活動外費用計(5)	49,323	40,710	8,613
サービス活動増減差額(6)=(4)-(5)	521,158	3,350,435	△2,829,277
経常増減差額(7)=(3)+(6)	15,971,942	24,947,559	△8,975,617
特別増減の部			
収益	26,100,000	0	26,100,000
施設整備等補助金収益	366,000	134,000	232,000
施設整備等寄附金収益	0	148,781	△148,781
固定資産売却益	242,792	182,094	60,698
その他の特別収益	26,708,792	464,875	26,243,917
特別収益計(8)	10,767,000	134,000	10,633,000
基本金組入額	1	29,012	△29,011
固定資産売却損・処分損	26,100,000	0	26,100,000
国庫補助金等特別積立金積立額	165,600	2,873,086	△2,707,486
その他の特別損失	37,032,601	3,036,098	33,996,503
特別費用計(9)	△10,323,809	△2,571,223	△7,752,586
特別増減差額(10)=(8)-(9)	5,648,133	22,376,336	△16,728,203
繰越活動増減差額(11)=(7)+(10)	172,614,979	195,372,643	△22,757,664
前期繰越活動増減差額(12)	178,263,112	217,748,979	△39,485,867
当期繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	0	0	0
基本金取崩額(14)	46,130,577	0	46,130,577
その他の積立金取崩額(15)	4,866,577	45,134,000	△40,267,423
その他の積立金積立額(16)			
繰越活動増減差額の部	219,527,112	172,614,979	46,912,133
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)			

資金収支計算書

(自) 令和4年4月1日(至) 令和5年3月31日

第一号第一様式(第十七条第四項関係)
(単位:円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支			
収入	15,142,000	11,184,033	3,957,967
就労支援事業収入	211,382,000	194,535,962	16,846,038
障害福祉サービス等事業収入	600,000	11,327,000	△10,727,000
経常経費寄附金収入	3,000	4,461	△1,461
受取利息配当金収入	304,000	566,020	△262,020
その他の収入	227,431,000	217,617,476	9,813,524
事業活動収入計(1)	149,591,000	139,484,167	10,106,833
支出	26,092,000	21,187,511	4,904,489
人件費支出	24,996,000	16,803,591	8,192,409
事業費支出	15,192,000	16,051,353	△859,353
事務費支出	38,000	33,844	4,156
就労支援事業支出	810,000	15,479	794,521
支払利息支出	216,719,000	193,575,945	23,143,055
その他の支出	10,712,000	24,041,531	△13,329,531
事業活動支出計(2)	26,100,000	26,100,000	0
施設整備等補助金収入	100,000	366,000	△266,000
施設整備等寄附金収入	0	95,000	△95,000
固定資産売却収入	26,200,000	26,561,000	△361,000
施設整備等収入計(4)	1,512,000	1,512,000	0
設備資金借入金元金償還支出	86,250,000	75,464,765	10,785,235
固定資産取得支出	1,238,000	1,236,840	1,160
ファイナンス・リース債務の返済支出	89,000,000	78,213,605	10,786,395
施設整備等支出計(5)	△62,800,000	△51,652,605	△11,147,395
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	47,430,000	46,130,577	1,299,423
積立資産取崩収入	0	242,792	△242,792
その他の活動による収入	47,430,000	46,373,369	1,056,631
その他の活動収入計(7)	7,247,000	6,581,913	665,087
積立資産支出			
その他の活動支出計(8)	40,183,000	39,791,456	391,544
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	4,095,000	—	4,095,000
予備費支出(10)	0	0	0
当期資金収支差額合計(11)=(9)+(10)	△16,000,000	12,180,382	△28,180,382
前期未支払資金残高(12)	185,229,689	185,229,689	0
当期末支払資金残高(11)+(12)	169,229,689	197,410,071	△28,180,382

財産目録

令和5年3月31日現在

別紙4
(単位：円)

資産負債表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	取得時残価額
1 資産の部						
1 流動資産						
現金預金	現金	—	運転資金として	—	—	25,439
普通預金	八十二銀行長野北支店 他	—	〃	—	—	173,539,691
前払金	—	—	小計	—	—	173,565,130
原料	—	—	—	—	—	31,586,222
前払金	—	—	—	—	—	45,722
仮払金	—	—	—	—	—	791,575
固定資産	—	—	—	—	—	206,188,649
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地						
長野市大字鶴岡222番地	—	—	第二種社会福祉事業である、フレッシュとくま施設に使用	—	—	29,200,000
長野市大字上鶴岡401番地1	—	—	第二種社会福祉事業である、こまごまハウス施設に使用	—	—	10,686,000
長野市大字上鶴岡429番地1	—	—	第二種社会福祉事業である、ワークス上野橋、スローステップ施設に使用	—	—	67,000,000
長野市大字上鶴岡401番地6	—	—	第二種社会福祉事業である、ワークス上野橋に使用	—	—	15,000
長野市大字上鶴岡402番地7	—	—	第二種社会福祉事業である、ワークス上野橋に使用	—	—	6,800
長野市大字上鶴岡401番地15	—	—	第二種社会福祉事業である、ワークス上野橋に使用	—	—	475,500
長野市大字鶴岡222番地	—	—	小計	—	—	107,392,800
長野市大字鶴岡401番地	—	—	第二種社会福祉事業である、フレッシュとくま施設に使用	227,156,938	102,171,973	124,983,965
長野市大字上鶴岡401番地	—	—	第二種社会福祉事業である、こまごまハウス施設に使用	6,858,512	4,986,575	2,571,937
長野市大字上鶴岡429番地1	—	—	第二種社会福祉事業である、ワークス上野橋に使用	134,403,476	43,849,136	90,554,340
長野市大字上鶴岡429番地1	—	—	第二種社会福祉事業である、ワークス上野橋に使用	330,000	114,043	215,957
長野市大字上鶴岡429番地3	—	—	第二種社会福祉事業である、こまごまハウス施設に使用	72,832,300	279,191	293,873,308
長野市大字上鶴岡429番地3	—	—	小計	—	—	1,000,000
定期預金	八十二銀行長野北支店	—	—	—	—	399,272,108
(2) その他の固定資産						
建物	長野市大字鶴岡463番地1 他	H17年度	第二種社会福祉事業である、ワークス上野橋等に使用	1,185,307	978,880	206,427
建物付属設備	防犯監視カメラ 他	—	第二種社会福祉事業である、ワークス上野橋等に使用	1,846,800	1,203,863	642,937
構築物	駐輪場 他	—	〃	4,749,840	4,134,193	615,647
車輦運搬具	トヨタハイエース 他台	—	〃	6,043,718	6,043,715	3
器具及び備品	冷暖房機 他	—	〃	32,331,318	25,217,895	7,113,513
有形リース資産	日産セレナ	—	〃	3,069,000	971,850	2,097,150
権利	電話加入権	—	〃	130,000	—	130,000
ソフトウェア	経理ソフト 他	—	〃	5,356,180	4,738,897	617,283
無形リース資産	国産運給付機ボールト	—	〃	3,115,200	1,869,120	1,246,080
リース契約預託金	ワークスハイエース 他台	—	〃	30,630	—	30,630
その他の固定資産	県社会福祉協議会 年金共済預け金	—	第二種社会福祉事業である、指定共同生活援助施設に使用	680,000	—	680,000
退職給付引当資産	県社会福祉協議会	—	将来における職員の退職給付目的	—	—	18,538,960
繰上資産	県社会福祉協議会	—	将来における施設整備目的の為に積立てている普通預金 他	—	—	5,000,000
流動負債	—	—	—	—	—	36,918,630
その他の固定資産合計						
流動資産合計						
固定資産合計						
資産合計						
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	就労事業工賃 他	—	—	—	—	5,125,589
その他の未払金	エフコム10台 他	—	—	—	—	2,145,365
1年以内返済予定設備資金借入金	独立行政法人福祉施設機構	—	—	—	—	1,512,000
1年以内返済予定リース債務	リコーリース 他	—	—	—	—	1,236,840
預り金	グループホーム入所者預り 他	—	—	—	—	18,469
職員預り金	社休、所帯預金 他	—	—	—	—	1,443,042
固定負債	—	—	—	—	—	11,481,163
流動負債合計						
固定負債合計						
負債合計						
純資産の部						
基本金	—	—	—	—	—	10,206,000
繰上資産	—	—	—	—	—	2,054,470
退職給付引当金	—	—	—	—	—	18,538,960
繰上資産	—	—	—	—	—	30,799,430
繰上資産	—	—	—	—	—	42,281,126
繰上資産	—	—	—	—	—	600,098,261
純資産合計						
負債及び純資産の部合計						

貸借対照表

令和5年3月31日現在

第三号第一様式（第二十七条第四項関係）
(単位：円)

資産の部	当年度末	前年度末	増 減
流動資産			
現金預金	206,188,649	190,531,042	15,657,607
事業未収金	173,765,130	160,602,544	13,162,586
原材料	31,586,222	28,765,287	2,820,935
前払金	45,722	61,681	△15,959
仮払金	791,575	977,860	△186,285
固定資産	436,190,738	413,780,121	22,410,617
基本財産	399,272,108	335,752,209	63,519,899
土地(基本)	107,392,800	107,392,800	—
建物(基本)	290,879,308	227,359,409	63,519,899
定期預金(基本)	1,000,000	1,000,000	—
その他の固定資産	36,918,630	78,027,912	△41,109,282
建物	206,427	231,233	△24,806
建物付属設備	642,937	873,787	△230,850
構築物	615,647	765,573	△149,926
車輦運搬具	3	3	—
器具及び備品	7,113,513	6,688,565	424,948
有形リース資産	2,097,150	2,710,950	△613,800
権利	130,000	130,000	—
ソフトウェア	617,283	865,427	△248,144
無形リース資産	1,246,080	1,869,120	△623,040
リース契約預託金	30,630	30,630	—
その他の固定資産(無形)	680,000	775,000	△95,000
退職給付引当資産	18,538,960	16,823,624	1,715,336
施設整備積立資産	5,000,000	46,264,000	△41,264,000
資産の部合計	642,379,387	604,311,163	38,068,224
負債の部			
流動負債	11,481,166	7,988,512	3,493,184
事業未払金	5,125,980	3,886,273	1,239,707
その他の未払金	2,145,365	1,512,000	2,145,365
1年以内返済予定設備資金借入金	1,512,000	1,512,000	—
1年以内返済予定リース債務	1,236,840	1,236,840	—
預り金	18,469	81,499	△63,030
職員預り金	1,443,042	1,244,500	198,542
前受金	—	12,000	△12,000
仮受金	—	15,400	△15,400
固定負債	30,799,430	31,832,934	△1,033,504
設備資金借入金	10,206,000	11,718,000	△1,512,000
リース債務	2,054,470	3,291,310	△1,236,840
退職給付引当金	18,538,960	16,823,624	1,715,336
負債の部合計	42,281,126	39,821,446	2,459,680
純資産の部			
基本金	171,470,885	160,703,885	10,767,000
第1号基本金	81,840,885	81,840,885	—
第3号基本金	89,630,000	78,863,000	10,767,000
国庫補助金等特別積立金	204,100,264	184,906,853	19,193,411
その他の積立金	5,000,000	46,264,000	△41,264,000
設備等整備積立金	5,000,000	46,264,000	△41,264,000
次期繰越活動増減差額	219,527,112	172,614,979	46,912,133
次期繰越活動増減差額(うち当期活動増減差額)	219,527,112	172,614,979	46,912,133
繰上資産	5,648,133	22,376,336	△16,728,203
繰上資産	600,098,261	564,489,717	35,608,544
負債及び純資産の部合計	642,379,387	604,311,163	38,068,224



ライフサポートりんどう家族会の状況

1 今年の情勢

今年度も新型コロナウイルスの感染状況に注視しながらの事業運営は変わらず、家族会の重点活動と位置付けていた家族の日も年間通して開催はできなかった。だが、そんな中ではあったが、法人と共催で体験者発表会を2回開催。各回ともに会員・当事者あわせて20人程度の参加があり、またその反響も大きく、“アフターコロナ”を見据えた家族会の活動にも弾みのつくものとなった。

2 事業の主なもの

- 1) 会 議
 - ・総会1回 ・幹部会 なし ・監査会1回
 - ※定期総会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止（書面同意をもって決議）
 - ※幹部会は上記理由により開催なし
- 2) 親睦交流会 新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止
- 3) 研 修 会
 - 『家族の日』（毎月最終金曜日）の開催は新型コロナウイルス感染レベルに考慮し中止
 - 体験発表会第1弾『お母さん死んじゃった 一人になったらどうしよう』
11月12日（法人との共催）
 - 体験発表会第2弾『一人暮らしはじめました
～不安だったけど、助けてくれるからなんとかなるよ～』
3月10日（法人との共催）
- 4) 啓 発 活 動
 - ・機関紙「とくまの風」不定期発行 No.222～No.226
 - ※R3年度から毎月発行から不定期発行に変更
 - ・月刊誌「みんなねっと」「こころの元気+」団体購読推進
- 5) そ の 他
 - ・古紙回収事業 8,020kg（去年は6,870kg）
 - ・令和4年度会員数 72名（幹部会員4名 代議員14名）
 - ・「後援会」への参加協力
 - ・社会福祉法人長野りんどう会への運営協力（評議員参加）
 - ・施設行事等への参加（ふれあいまつり、年忘れ会等）は法人行事がすべて中止となったため参加実績なし

3 会計報告

・収入	299,757円	・支出	205,061円	・収支残額	
内訳		内訳			
繰越金	77,937円	会議費	6,590円		94,696円
会費	78,000円	負担金	42,000円		(次年度へ)
事業収入	143,820円	通信費	47,704円		
雑収入	0円	旅費	260円		
		報償費	9,000円		
		事業費	97,282円		
		雑費	2,225円		
		寄附金	0円		

松橋理事長に聞いてみた！

令和5年6月26日付で社会福祉法人長野りんどう会の理事長が宮尾美代子から松橋良三に交代しました。

新しく理事長に就任した松橋さんってどんな人？ 今号で少しお話を聞いてみましょう！ 松橋さん、よろしくお願いします。

◆好きな食べ物はなんですか？

肉

◆趣味はなんですか？

スポーツ観戦でした。これからは、旅行もしたい。「大人の休日倶楽部」キップの活用。

◆自分はどんな性格だと思いますか？

皆から見れば、理屈っぽく、面倒と見られているのかな

◆みなさんへのメッセージをお願いします

今、フレイル予防ということで、ジョギングを続けています。特別速くなろうということはありませんが、それでも少しでも速くなりたいという気持ちを持って、走っています。皆様も、「アレ」を決め、「アレ」に向かって取り組んでいきましょう。

◆ご寄附、誠にありがとうございました。

個人・法人で総額 370,000円（80件）

R5.4.8～R5.9.20（順不同・敬称略）

峯岸久喜 石坂隆重 鈴木信夫 松橋良三 平林道子 安念泰子 岩倉和夫 高橋武久
伝田ゆり子 野口英俊 藤沢惇子 清水重徳 野崎弘子 北原朋子 長谷部みどり
間島悦子 市川道子 平野国政 中村良三 小林辰男 畑野明子 宮崎音和 太田雄子
清住惇子 林孝子 百瀬静江 小林淑朗 金子幸孝 松浦節子 山崎茂樹 竹内伴夫
辰野美代子 望月正子 月岡万佐廣 塚田稲子 栗原良子 小宮山紀道 春日桂子
山浦俊枝 吉岡達男 藤澤敏明 三浦園子 古清水光男 小林一秀
株式会社宮本忠長建築設計事務所 医療法人聖峰会（佐藤病院） 長野タイヨー印刷株式会社

編集後記

松橋理事長のメッセージの中にあつた「フレイル」とは、歳を重ねて心や体などが弱っている状態を表すような言葉です。歳を重ねても、心身ともに健康的に社会と関わりを持ちながら長生きをしようという取り組みがフレイル予防といえるかもしれません。年齢は関係なく、また障害があってもなくても、皆が社会に参加しながら心身ともに元気に生活をしていきたいですね。

（高野）